

事業評価シート

番号 0840010 - 001

【1.基本情報】

事業名	市営墓地管理				
担当部名	市民生活部	担当課名	市民生活政策課		
未来地図政策	都市づくりを支え推進する行財政運営		政策コード	7 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成18年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	市営墓地施設の維持管理				
事業の内容	施設内外の巡視及び警備、墓参者の対応、施設管理 施設内のごみ収集、雑草引き、樹木剪定、補修作業等				
事業の 対象	何を	市営墓地			
	誰に (対象者・対 象者数)	墓地使用者			
	どのくらい (具体的 数値で)	墓地使用者18,268人			
令和2年度 (実施内容)	施設内外の巡視及び警備、墓参者の対応、施設管理 施設内のごみ収集、雑草引き、樹木剪定、補修作業等				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,242	260	8,840	260	8,450	260
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	8,242	260	8,840	260	8,450	260

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		50,324	36,823	45,830
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	管理業務	2,856	2,976	3,063
	清掃維持	14,116	15,316	15,793
	修繕・工事費	19,992	2,120	2,862
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		50,324	36,823	45,830

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	58,566	45,663	54,280

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	14,438	11,349	15,635
その他			
計(F)	14,438	11,349	15,635

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	44,128	34,314	38,645

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数			
受益者負担額(千円)	14,323	11,234	15,519
受益者負担率(%)	24.5%	24.6%	28.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	市営墓地の使用可能区画数	単位	区画
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	20,214	20,214	20,214
実績値	19,458	19,473	19,473

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市営墓地の使用率	単位	%
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	100	100	100
実績値	96.3	96.3	96.3
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	利用者の利便性の向上や市民ニーズの把握に努めている。 市営墓地として整備されたものであり、市が維持管理していく必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	民間で実施できるものを委託することで、合理的、経済的で確実な施設管理に努めている。 市営墓地として整備されたものであり、市が維持管理していく必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	利用者の利便性・安全性の向上に努めている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	全ての市民が、条件を満たせば、使用の申込が可能である。 また、新規貸付の使用料は、墓地造成の費用から算定しており、適正と考えている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	今後も利用者の利便性・安全性の向上に努めるとともに、合葬墓などの新たな形態の墓地について研究していく。